

## 第6回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時：R2.3.5（木）10:00～10:30

場所：審議会室（本館5階）

（進行：厚地危機管理監）

- 1 開会
- 2 本部長訓示（蒲島知事）  
※別紙「第6回熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 本部長訓示概要」  
により訓示
- 3 議事
  - （1）新たに確認された県内感染者について（上野健康危機管理課長）  
資料1により説明  
【質 疑】質疑なし
  - （2）各部の取組みについて
    - ① 県内学校の臨時休校への対応等について（古閑教育長、渡辺健康福祉部長）  
資料2により説明  
【質 疑】質疑なし
    - ② 雇用調整助成金に係る国への追加要望について（磯田商工観光労働部長）  
資料3により説明  
【質 疑】質疑なし
    - ③ その他（厚地危機管理監）  
資料4により説明  
【質 疑】質疑なし

小野副知事：報道機関の皆様へお願いしたい。今回、玉名で感染者が出た。報道で気を付けてもらいたいの、この方は、無症状にも関わらず、すごく勇気をもって検査を受けていただいた。これから、勤務先の方々にも影響があるかもしれない。それは、マスコミの皆様方の報道次第にもよるかもしれないと思っている。こういった無症状であるにも関わらず「もしかしたら病気になっているのかもしれない」と、勇気をもって自分で検査を受けてみようということは、これから恐れることがあってはいけないと思う。感染拡大を防ぐためには「疑いのある人がちゃんと検査に行こう」となるような環境が大事だと思っている。その意味では、報道する際にも、ぜひその勇気をしっかりと取り上げていただきたい。萎縮するようでは感染拡大は止まらないと思うので、ぜひその点をお願いしたい。環境生活部長には、今までにも感染している方、あるいは一緒にいた方も差別にあっていいるなど、色んなことが聞かれているので、こういったことをしっかり防ごうことが日本から感染拡大を収束させるためには必要なことだと思うので、その対策もぜひ積極的にやってほしい。

蒲島知事：副知事が言ったように、このケースは、私もとても勇気のある行動だと思う。症状がないのに、こういった形で手を挙げる人はとても少ないのではないかと思う。勇気に大変感銘を受けた。そして、それを皆で支えるような社会になることが、むしろ問題が起きた時に、自分がおかしいのではないかとか、皆がそういう形で手を挙げてもらうことが感染防止につながると思う。